

対象患者：EGFR ex20ins 非小細胞肺癌
 根拠文献：N Engl J Med. 2023 Nov 30;389(22):2039-2051.
 レジメン名称：(Cycle1/Cycle2/Cycle3・4)Ami+CBDCA+PEM(80kg以上)/(Maintenance)Ami+PEM(80kg以上)
 1コースの日数：21日

1コース目

No.	抗がん剤名 (溶解液、支持療法も含む)	標準的投与量	投与方法	投与時間	Day							
					1	2	～	8	～	15	～	21
1	パロノセトロン デキサメタゾン ホスネツピタント	0.75 mg (50 mL) 19.8 mg 235 mg	点滴静注	30 分	○							
2	デキサメタゾン 生理食塩液	9.9 mg 50 mL	点滴静注	15 分		○						
3	ペメトレキセド 生理食塩液	500 mg/m ² 100 mL	点滴静注	10 分	○							
4	カルボプラチン 5%ブドウ糖液	AUC 5 250 mL	点滴静注	1 時間	○							
5	生理食塩液	50 mL	点滴静注	15 分	○							
6	生理食塩液	50 mL	点滴静注	30 分		○						
7	生理食塩液	50 mL	点滴静注	5 分				○		○		
8	アミバンタマブ（遺伝子組換え） 生理食塩液	350 mg/body 243 mL	点滴静注	開始2時間は50mL/h投与、 その後75mL/hに速度変更	○							
9	アミバンタマブ（遺伝子組換え） 生理食塩液	1400 mg/body 222 mL	点滴静注	開始2時間は25mL/h投与、 その後50mL/hに速度変更		○						
10	アミバンタマブ（遺伝子組換え） 生理食塩液	1750 mg/body 215 mL	点滴静注	65mL/h				○				
11	アミバンタマブ（遺伝子組換え） 生理食塩液	1750 mg/body 215 mL	点滴静注	85mL/h						○		
12	生理食塩液	50 mL	点滴静注	15 分	○	○		○		○		

2コース目

No.	抗がん剤名 (溶解液、支持療法も含む)	標準的投与量	投与方法	投与時間	Day		
					1	～	21
1	パロノセトロン点滴静注バッグ デキサメタゾン ホスネツピタント	0.75 mg (50 mL) 9.9 mg 235 mg	点滴静注	30 分	○		
2	ペメトレキセド 生理食塩液	500 mg/m ² 100 mL	点滴静注	10 分	○		
3	カルボプラチン 5%ブドウ糖液	AUC 5 250 mL	点滴静注	1 時間	○		
4	生理食塩液	50 mL	点滴静注	15 分	○		
5	アミバンタマブ（遺伝子組換え） 生理食塩液	1750 mg/body 215 mL	点滴静注	125mL/h	○		
6	生理食塩液	50 mL	点滴静注	15 分	○		

3.4コース目

No.	抗がん剤名 (溶解液、支持療法も含む)	標準的投与量	投与方法	投与時間	Day		
					1	～	21
1	パロノセトロン点滴静注バッグ デキサメタゾン ホスネツピタント	0.75mg (50 mL) 9.9 mg 235 mg	点滴静注	30 分	○		
2	ペメトレキセド 生理食塩液	500 mg/m ² 100 mL	点滴静注	10 分	○		
3	カルボプラチン 5%ブドウ糖液	AUC 5 250 mL	点滴静注	1 時間	○		
4	生理食塩液	50 mL	点滴静注	15 分	○		
5	アミバンタマブ（遺伝子組換え） 生理食塩液	1750 mg/body 215 mL	点滴静注	125mL/h	○		
6	生理食塩液	50 mL	点滴静注	15 分	○		

5コース目以降

No.	抗がん剤名 (溶解液、支持療法も含む)	標準的投与量	投与方法	投与時間	Day		
					1	～	21
1	デキサメタゾン 生理食塩液	6.6 mg 50 mL	点滴静注	15 分	○		
2	ペメトレキセド 生理食塩液	500 mg/m ² 100 mL	点滴静注	10 分	○		
3	生理食塩液	50 mL	点滴静注	15 分	○		
4	アミバンタマブ（遺伝子組換え） 生理食塩液	2100 mg/body 208 mL	点滴静注	125mL/h	○		
5	生理食塩液	50 mL	点滴静注	15 分	○		

備考：
 アミバンタマブの投与開始30～60分前に前投薬(アセトアミノフェン1000mgとd-クロルフェニラミンマレイン酸塩2mg)を内服。
 1コース目day1、day8、day15は原則入院で投与。2コース目以降より外来運用あり。
 治療1週間前より、副作用予防としてビタミンB12 1 mg（9週間隔で筋注）及び葉酸0.5 g（連日内服）の投与を開始。